

はねっと 10

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

まだ間に合う だから今すぐ行動しよう

Fridays For Future Sendai (FFFSendai)

ときとう はるひさ

代表 時任晴央さん(22)

気候危機対策を訴える国際的な草の根運動Fridays For Future の仙台代表、時任晴央さんは、地球温暖化等により引き起こされる気候変動を食い止めようと、2020年から仲間とデモ行進やSNSで気候危機の深刻さを発信しています。「将来家族ができれば、子どもと一緒にたくさんの動植物と触れ合いながら暮らしたい」と夢を語ります。

時任さんは、東京都八王子市の自然豊かな環境で育ちました。生き物や自然を大切にする両親の教育もあり、気づけば環境問題への意識が芽生えていました。「関心はあったけれど、一人では何もできないと感じていた」と明かす時任さん。背中を押したのは、東北大学進学後に知ったFFFの世界的なムーブメントでした。さらに、近い未来1.5度の気温上昇が起きるとい、国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告を受け、活動への思いに火が付きました。「このまま気温上昇が続けば、私が32歳になる頃には、地球の生態系が回復できない地点“ティッピングポイント”に達するという研究結果もあります。その地点から気候変動の加速と拡大は急激に進み、自然災害、異常気象、食料不安と水不足、経済的格差もさらに広がってしまう」と、危機感を募らせています。日本全国のFFFの中心的存在であるFridays For Future Japanにも加わり、国の気候危機対策を促進させるため、政治や世論に働きかける役割も果たそうとしています。

「行動するのは、当たり前のように夢見ている自分の将来を守りたいから。多くの人に自分事として考えてほしい」と、切に訴えます。



Fridays For Future Sendai (未来のための金曜日・FFF)

2018年8月、スウェーデン出身で当時15歳のグレタ・トゥーンベリさんが、気候変動に対する行動の欠如を国会に抗議する「座り込み」を行ったことから始まったムーブメントです。共感是世界中の若者に広がり、2019年2月に東京でも運動が起こりました。その後FFFは25都道府県28地域に拡大。プラカードを持って街を歩く「マーチ」、ツイッターに「#気候も危機」とつけてつぶやくデジタル気候マーチなど様々な形で気候危機を食い止めようと呼びかけています。

マーチやオンラインイベントに参加しよう!
最新情報はfacebookからチェック!▶





活動を始める一歩を応援します。

必要なものを、必要な分だけ購入する習慣を身につけよう！

「食品ロスをなくす」をテーマに、青葉区通町で毎月開催している「量り売りマルシェ」では、ハムやパンは1切れから、丸ごとだと食べきれないスイカも、食べる分だけ切り分けて販売しています。主催者で出店者でもある、ハム生産者の高崎おかりさんは「必要な分だけ買うことができれば、余分なごみを減らせる」と話し、「自分が食べられる量に無自覚な買い物の仕方を、考え直す機会にして欲しい」と訴えます。この思いに賛同し、一緒にマルシェを切り盛りするのは、

ジャムは10gから、ハムは1枚からでも買えます。▶
左から渡辺さん、高崎さん、佐藤さん▼



料理教室を主宰するフードクリエイター（さとう ちか）の佐藤千夏さん、イベントプランナーの渡辺沙百理さんです。2人は、「ごみをなるべく出さない買い物をして欲しい」と、エコバックや量った食品を持ち帰るための容器を持参しての買い物を提案しています。2019年6月に始まって以降、多くの人が訪れ、すべての人が容器を持参するようになりました。新しい買い物の仕方について考えてみませんか。



量り売りマルシェ

会場：紫山のごはん会 分室
仙台市青葉区通町2-16-24
コクラス北仙台1F
主催：PLANNING LABORATORY、
ATELIER DE JAMBON MAISON
紫山のごはん会

Facebook
はこちら▶



Instagram
はこちら▶



サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します

社会的処方 孤立という病を地域のつながりで治す方法

医師として働く著者は、ある高齢者からの相談がきっかけで、様々な病気の元になる医療だけでは解決できない問題に直面。患者に応じたサークル活動や市民活動等の「人と人とのつながり」と「医療」を連携させて「処方」する方法と出会います。本書では、市民一人ひとりがつながられる範囲で必要な人に活動を「処方」する役割を担うことで、互いに支え合い暮らす地域社会を提案。地域の中の様々な活動を「処方箋」として紹介しています。

編著者 西 智弘
発行所 株式会社 学芸出版社

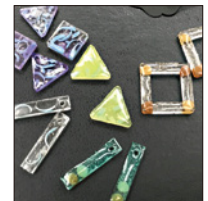


活動を始める一歩を応援します。

手作りアクセサリを買って、海を大切に する活動に「♡いいね！」しませんか？

「荒浜里海ロッジ けのひ」は、仙台市若林区荒浜地区の海岸近くにある小さなお店です。海岸に打ち上げられたプラスチックやシーグラスなどの漂着物を丁寧に加工することで、色鮮やかなイヤリングやネックレスに生まれ変わらせて販売しています。海洋ごみの清掃・調査・研究、それらを使ったアクセサリ作りのワークショップに取り組んできた、「環境系学生団体 海辺のたからもの」が2020年7月にオープンさせました。自然と人の営みが調和する里海の暮らしを目指す活動に、買い物で参加することができます。

住所：〒984-0033若林区荒浜中丁27
営業時間：水曜日・木曜日 11:00～16:00
土曜日・日曜日・祝日 10:00～16:00
※営業時間は変更する場合があります
Facebook: けのひ@荒浜里海ロッジCafespace



つながる つなげる サポセン

仙台市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 10月14日(水)、28日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

[ツイッター] @SCSC4CA

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。
ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行 仙台市民活動サポートセンター
(指定管理者：特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2020年10月1日

デザイン PEACE Inc.

「ばれっと」紙面についてのお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、社会情勢の変化が著しい中、市民活動の現場で起こっている状況に柔軟に対応するため、2020年7月号より紙面構成を変更しています。引き続きご愛読よろしくお祈りします。